

【チャレンジクラスのご案内】

小金井市立東中学校 チャレンジクラス 「サンライズ」

| | |
|--------|----------------------------|
| 所在地 | 〒184-0011 東京都小金井市東町1丁目5-33 |
| 問い合わせ先 | チャレンジクラス直通 042-381-2870 |

I. チャレンジクラスの概要と目的 ~一人一人の生徒に寄り添う、新たな学びの場を提供します~

チャレンジクラスは、都内公立中学校等における不登校生徒を対象として、その実態に配慮した教育を実施する学級です。チャレンジクラスでは、不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりある生活時程を実現し、実態に応じた支援を行うことを目的として、以下の3点を目指します。

1. 安心して通える場所

チャレンジクラスに在籍する生徒の登校日数の状況が、在籍前に比べて改善するよう、一人一人が安心して過ごせる環境を整えます。



2. 「わかる」喜びを取り戻す

生徒一人一人の学習状況に合わせた個別学習やグループ別学習など指導方法の工夫改善に努め、スモールステップで「わかった」「できた」という成功体験を積み重ねます。



3. 一人にしない支援体制

教職員がスクールカウンセラー（SC）、スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）、専門機関等と連携し、すべての生徒と保護者が安心して相談できる体制を築きます。



II. 対象となる生徒

チャレンジクラスの対象者は、主に以下のいずれかに該当する生徒です。

- ① 年間 30 日以上欠席し、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にある生徒（病気や経済的な理由によるものを除く）
- ② 欠席が 30 日未満であっても、断続的な不登校又は不登校の傾向が見られる生徒

ただし不登校の原因が、本人の問題行動等にあると認められる場合には、この限りではありません。

III. 教育活動と支援の特徴

1. ゆとりある生活時程の実現

生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、通常学級とは別に学級を編制し、通常学級の年間授業時数（1,015 時間）より少ない時数（例：週 19 時間、年間 665 時間程度）で授業を実施します。学習内容の要点のみを扱うなどの軽重を行いながら、生徒一人一人の実態に応じた支援を行っていきます。

| | |
|-------|--|
| 登校・下校 | ・登校時刻を遅くし、下校時刻を早めます。（登校時刻：9:10～9:30 下校時刻：14:45 頃） ・登下校時に他の生徒と会わないよう、動線に配慮します。 |
| 朝の活動 | ・朝の学級活動の後に、心身の状況を整えるための「リフレッシュタイム」や軽運動を実施します。 |
| 授業時間 | 1 日 4 時間程度の授業を基本とし、ゆとりをもって学習を進めます。 |

<生活時程及び時間割例>

| 生活時程 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|-------------------|----|----|-------|----|
| 9:10~ 9:30 | 登 校 | | | | |
| 9:30~ 9:45 | 朝の学級活動・リフレッシュタイム等 | | | | |
| 9:50~10:40 | 学活 | 体育 | 理科 | 総合 | 体育 |
| 10:50~11:40 | 美術 | 英語 | 社会 | 数学 | 国語 |
| 11:50~12:40 | 社会 | 国語 | 音楽 | 理科 | 英語 |
| 12:40~13:10 | 給食 | | | | |
| 13:10~13:30 | 昼休み | | | | |
| 13:30~14:20 | 数学 | 道徳 | | 技術/家庭 | 総合 |
| 14:20~14:30 | 帰りの学級活動 | | | | |
| 14:30~14:45 | 清 掃 | | | | |
| 14:45 | 下 校 | | | | |

2. 学習指導と個に応じた支援

(1) 教育課程と指導体制

設置校の教育課程に基づき、学年相応の学習指導を行います。学習は学年別で行いますが、内容によっては他学年合同で行うこともあります。学級数は各学年1学級です。1学級の定員は35人ですが、少人数指導を想定しているため、状況を見て判断します。可能な限り TT(チームティーチング)体制をとり、個別最適な学習指導を目指します。

(2) 個別の支援計画

年度当初や入級当初に生徒および保護者と面談し、本人の願いや目標を踏まえた「個別の支援計画」を作成し、支援方針を共有します。



(3) 個に応じた柔軟な支援

不登校による学習の遅れに対応するため、習熟度別学習を取り入れ、「個別の支援計画」に基づいた補充の学習(学び直し)を行います。

(4) 体験的な学習

美術や音楽、家庭科などの実技授業や、総合的な学習の時間等における体験活動(自然観察・実験、職業調べ、調理実習、創作活動など)を実施し、学習意欲を育みます。また、行事も計画します。



3. 環境と専門的な支援体制

(1) 教室環境

通常学級との接触や登下校時刻が異なることへの配慮から、通常学級とは別の昇降口を設けています。教室はパーテーションで分割して個別に対応します。教室内に個別学習、グループ学習など多様な学習の場の設定や、一人で落ち着けるスペースや談話スペースを整備し、安心・安全な生活空間を提供します。



(2) 専門家との連携

正規の教員が担任となり指導・支援にあたるほか、状況に応じてSC(スクールカウンセラー)やSSW(スクール・ソーシャルワーカー)が支援会議に参加するなど、生徒や家庭へのサポート体制を構築します。



IV. 入級・退級の手続き

入級には、生徒にとって最適な学びの場であるかを慎重に検討するため、以下の手順を踏みます。

1. 入級までの流れ

①【相談・面談】

保護者は在籍校に入級希望を伝え、相談します。相談の結果、保護者が入級を希望する場合、在籍校は保護者に入級申請書を渡します。

②【申請書提出】

保護者は、入級申請書を在籍校長を經由し、教育委員会に提出します。

③【見学・面談】

東中学校は、保護者と見学日程を調整します。児童・生徒及び保護者は、チャレンジクラスを見学、東中学校と面談し、チャレンジクラスの説明を受けます。

④【体験入級】

児童・生徒はチャレンジクラスで2週間程度の体験入級を行います。＊下表は令和8年度の体験予定

| | 体験期間 | 対象児童・生徒 | 入級開始時期 |
|-----|--------------------|---------|--------|
| 第1回 | 6月15日(月)～6月26日(金) | 中学1～3年生 | 2学期開始時 |
| 第2回 | 9月7日(月)～9月18日(金) | 中学1～3年生 | 10月上旬 |
| 第3回 | 11月9日(月)～11月20日(金) | 中学1・2年生 | 3学期開始時 |
| 第4回 | 12月7日(月)～12月18日(金) | 小学6年生 | 次年度1学期 |
| 第5回 | 2月8日(月)～2月22日(月) | 中学1・2年生 | 次年度1学期 |

⑤【意向確認】

体験期間中に、児童・生徒、保護者、チャレンジクラス教員による面談を行い、入級の意向を確認します。

⑥【審査会】

教育委員会は、入退級に関する審査を行うため入退級審査会を開催し、入級の可否を審査します。

⑦【決定・転入】

入級の可否は在籍校経由で保護者に知らせます。在籍校および設置校が転出入の手続きを行います。手続き後は、東中学校チャレンジクラスの在籍となります。

2. 入級審査の主な条件

① 体験期間中、6割以上参加していること。

ここでいう「参加」とは、1日のうち1時限でも参加できた場合とする。

② 生徒、保護者ともにチャレンジクラスへの入級に同意していること。

③ 生徒が通学に対して意欲的であり、授業に参加して学習に取り組むことができること。

④ 徒歩または公共交通機関による通学が可能なこと。

＊自転車通学は認められません。保護者による送迎は可能です。

3. 退級の手続き

退級を希望する場合、保護者は設置校長に退級希望を伝えて面談を行い、退級届を提出します。入退級審査会での審査を経て、退級を決定します。退級審査会を経て、元の在籍校の通常学級に転学することになります。

V. よくいただくご質問(Q&A)

1. 在籍・入退級・体験入級に関すること

| | 質問 | 回答 |
|---|---------------------------------------|---|
| 1 | 現在は不登校ではありませんが、以前不登校でした。この場合、入級できますか。 | チャレンジクラスは現在不登校、不登校傾向の生徒に対する支援として位置付けられていますので、現在不登校でない場合は、入級の対象とならないことがあります。在籍校の不登校支援コーディネーターにご相談ください。 |
| 2 | 現在小学5年生です。再来年度の入級を希望する場合は、体験はいつできますか。 | 5年生以下の見学・体験の予定はありません。6年生の12月頃に行われる、小学校6年生対象の体験入級にご参加ください。 |

2. 生活・授業に関すること

| | 質問 | 回答 |
|---|---------------------------------|---|
| 3 | 標準服はどうなりますか。また、ジャージなどでも登校できますか。 | 東中学校の標準服又は以前の在籍校の標準服を着用することになります。東中学校の標準服は、サイズが合えば貸し出しもできます。また、購入することもできます。面談時にご相談ください。 |
| 4 | 通常学級との交流はありますか。 | 交流学級を設け、生徒及び保護者の要望があれば、東中学校の学校行事(運動会や合唱コンクール、修学旅行など)に参加することができます。 |
| 5 | 定期テストなどはあるのでしょうか。 | チャレンジクラスとしての定期テストは行いません。評価・評定を希望する場合は、通常学級と同様の定期テストを受験する必要があります。 |
| 6 | チャレンジクラスに在籍した場合、通常の成績は付きますか。 | 授業内容や授業時数の関係により、文章での評価を行います。ただし、生徒および保護者の要望があり、定期考査の受験等の条件を満たす場合、通常学級と同様の5段階での評価を行うことも可能です。 |
| 7 | 部活動への参加は可能ですか。 | 生徒及び保護者の要望があれば可能です。 |

3. その他

| | 質問 | 回答 |
|----|---|--|
| 8 | 特別支援学級とチャレンジクラスはいずれも少人数の指導ですが、どんなことが違うのですか。 | チャレンジクラスは通常学級と同様の教育課程であるため、特別支援学級で受けられる自立活動等の教育活動や介助員等による特別な支援はありません。不登校の支援のための少人数での学級編成であることが大きな違いです。 |
| 9 | 特別支援学級に在籍していますが現在不登校の状態です。そのような場合でも入級できますか。 | チャレンジクラスは不登校への支援を行います。特別な指導・支援が受けられないことを十分に踏まえた上で入級をご検討ください。 |
| 10 | 特別支援教室や東中学校の校内教育支援センターの併用はできますか。 | チャレンジクラスの生徒が使用することは想定しておりません。入級後、様々な心配や不安がある場合はチャレンジクラスの教員にご相談ください。 |